

やまだんの 山田野

12

独立行政法人
国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

城端ラブソディール



3月3日から14日まで、北日本新聞の1面に「城端ラブソディール」というタイトルで城端の特集記事がシリーズ掲載されました。内容は平成20年に公開されたアニメ番組「true tears」を制作した地元の小さなアニメ制作会社ピーエーワークスが地方の小都市城端で創業し、地域とともに成長していくサクセスストーリーに越中の小京都「城端」の歴史と風景、情緒が見事にオーバーラップされた記事でした。

私事ですが、この記事の連載中に人事異動の内示があり、4月から三重県に転勤することになりました。この原稿を書いている今も、静かな城端に赴任して過ごした日々、北陸病院でそして城端の町で出会った人々のことが次々に思い出されます。

4年前、北陸病院に来てまずしなければいけないと思ったのが、広報誌の発行でした。広大な敷地の病院でしたが、精神・重度心身障害・神経難病という、いわゆる障害者を対象とした医療に特化した病院で、地域との交流にも消極的でしたので、何か地域に向けた情報発信ができないかと思い、取りかかったのがこの「やまだんの」でした。

地元の人でも北陸病院がどんな診療をしているのか、どのくらいの規模の病院なのかをご存知の方は殆どおられず、「入院患者さんと職員を合わせて500人くらいですよ」と言うのと「そんなにたくさんおいでなの」と皆さん驚かれました。

平成21年から始まった第2期中期計画の中で、北陸病院は地域のための医療機能と全国からの患者を受け入れなければならない「国立病院機構の使命」である政策医療機能とのバランスを保ちつつ、地域に信頼される病院

を目指すため、ソフト面では昨年度から年に2回、近隣の医療機関や福祉施設に勤務されている職員の皆様を対象とした認知症研修を初めて実施し、地域の関係者に北陸病院を知って頂く機会ができましたが、実は今まで10年以上も厚生労働省の委任を受けて、全国の医療機関の看護師さんを対象とした認知症研修を開催し、延べ数百人の認知症のエキスパートを育ててきています。

また、ハード面では老朽化した病棟の全面建替計画が進行中で、2年後に精神病棟、3年後の平成25年の春には神経難病と重症心身障害児病棟を建替し、全ての病棟が新築整備される予定となっています。

近年、全国に向けた職員募集が奏功し九州や沖縄からも北陸病院の職員として働きたいという人たちが集まってきてくれました。

歴史の町城端で、この方たちが北陸病院とともに成長していってくれるものと期待しています。ゴールデンウィークには、観光客としてのんびりと曳山祭に訪れたいと思っています。

(元事務長 後藤 宣光)



パーキンソン病外来を開設しました

2008年4月より神経内科外来をおこなっております。神経内科では脳、脊髄、末梢神経、筋肉などの疾患をみています。神経難病もみえています。「北陸病院」というと、精神科を真っ先に思い出される方が多いのではないのでしょうか。もちろん、当院では精神科を中心に診療をおこなっております。しかし、内科、神経内科の外来もあるのです。

これまで神経内科外来は、

初診を月曜日、木曜日の午前中
再診を火曜日、金曜日の午前中

行ってきました。

加えて2010年4月より、

月曜日午後にパーキンソン病外来

を開設することにしました。

大きな病院ですと、診察するまでに1～2時間待つなんて当たり前の状態になっていませんか？

パーキンソン病の方は薬の飲む時間が遅れてしまったり、体がかたくなったりなんてこともあると思います。また、仕事の都合上、午前中は受診しにくいという人もいます。当院では午後にも時間を作り、一人一人に時間をかけて診察していきたくと思っています。

午後受診希望の方がいらっしゃいましたら、地域医療連携室にご連絡ください。時間は相談に応じたいと思います。

また、パーキンソン病と診断されていなくても、ふるえや足が前に出にくい、動作が遅いなどの症状の方もご相談ください。なお、はじめての方は午前中をお願いすることがあります。ご了承ください。

(神経内科 小竹 泰子)



【パーキンソン病の症状】



(絵作成 1病棟 上井 弓佳)

職場紹介のページ

【放射線科】

当科の役割は画像診断です。先生方に患者様の病気の状態を診断していただくために、重要な情報を提供しています。スタッフは、放射線技師2名で、日々の業務を行っています。

機器としては、X線一般撮影装置、CT撮影装置、X線TV装置、骨密度測定装置を有しております。

◆X線一般撮影装置

主に胸部（肺野、縦隔、心臓などの診断）・腹部（腹部臓器、ガズ像などの診断）・骨・関節（関節の状態、骨折などの診断）などのX線撮影検査を行います。一般撮影は、短時間に撮影ができますので、画像診断においては第一選択とされております。当院ではデジタルラジオグラフィ（CR）が導入されております。CRは、X線の透過像を直接フィルムに写すのではなく、イメージングプレート（IP）という媒体に一時記憶してコンピュータにて処理を行った後、診断に適した画像情報を提供することが可能になりました。先生方にはそのフィルムやモニタにて診断していただいております。



CRシステム

◆CT撮影装置（マルチスライスCT）

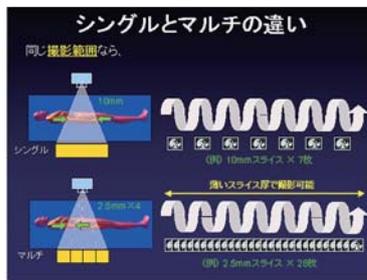
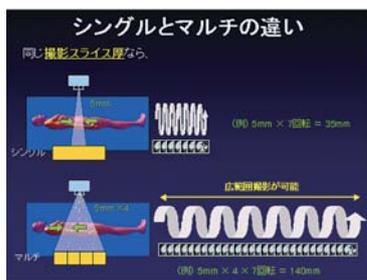
CT撮影装置は、頭部、胸部、腹部、及び整形外科領域の分野において必須の画像診断装置であり、近年の性能向上は著しく、当院も平成20年1月よ



マルチスライスCT

りマルチスライスCT装置が稼動しています。

この装置は、早く広い範囲を鮮明に撮影することができますので、患者様の苦痛も少なくなったと思います。



マルチスライスCTでは、撮影したデータをコンピュータ処理して、いろいろな角度からの裁断画像（MPR像）や、いろいろな角度から

の立体画像（3D画像）を作成することが可能です。種々の利点をもったこの装置は診断に多大なる貢献をしております。

◆X線TV装置

主に食道・胃・十二指腸透視、大腸（注腸）造影検査に利用され、造影剤を使用しながら人体の臓器を透視して画像を提供します。

◆骨密度測定装置

骨粗しょう症の診断には欠かせない検査です。骨評価検査（骨密度測定）は、X線を用いる方法もありますが、当院では超音波を用いた検査を行っています。検査は、かかとの骨に超音波を当てて行います。検査時間は5秒程度です。検査準備を含めても1～2分程度で終わります。骨粗しょう症は骨が弱くなり、転倒等のはずみで骨折しやすくなります。定期的な検査をお勧めします。

（診療放射線技師長 大島 治泰）

外来担当医表

項目	月	火	水	木	金	
精神科・神経科（初診）	市川	坂本	白石	石崎	細川	
精神科・神経科（再診）	石崎	白石	下畑	市川	村田	
神経内科	小竹（初診）	小竹（再診）		小竹（初診）	小竹（再診）	
内科	渡辺	渡辺	渡辺	荒幡	渡辺	
専門外来	睡眠（初診）		古田	古田		
	睡眠（再診）		竹内	古田	細川	
	パーキンソン病	小竹（午後）				
	重症心身障害	●受付・診療時間・・・8:30～11:30 ①診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。 ②かかりつけ医がある場合は、紹介状をもらってきてください。 ③睡眠外来ではセカンドオピニオンも実施しています。（水曜日午後） 【地域医療連携室 直通電話】0763-62-1950				
	アルコール					
	もの忘れ					
ストレスケア						

与太話 レントゲン？エックス線？

一般に「レントゲン」という呼び方が一番みなさんに理解していただけるかとおもいます。しかし、せっかくの機会ですので、記憶の片隅にでもいれていただければ幸いです。「レントゲン」とは、エックス線を発見したひとのなまえです。



▲ウィルヘルム・コンラート・レントゲン博士

1895年11月8日、ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン博士は、陰極線の研究にあたり放射線を発見しました。この新しい放射線の存在を確信した博士は、数学の未知の数をあらわす「X」の文字を使いX線（エックス線）と名づけました。また、レントゲン博士の栄誉をたたえ、エックス線はレントゲン線ともよばれています。

（診療放射線技師長 大島 治泰）



▲1896年1月23日に博士が撮った手のX線写真

【交通アクセス】

◆交通機関

JR城端線・城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティーバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・上野・前田・寺井